

# 北九州市 児童福祉施設等 第三者評価結果票

## 1 施設・事業所の概要

- |               |                 |
|---------------|-----------------|
| (1) 事業者名（法人名） | （社）恵風会          |
| (2) 事業所名      | 広済寺保育園          |
| (3) 設立年月日     | 昭和25年 9月        |
| (4) 定員        | 90 名            |
| (5) 所在地       | 門司区大里東四丁目 11-11 |
| (6) 電話番号      | 093-381-7301    |

## 2 評価実施日

平成28年1月19日

## 3 評価実施者

北九州市（北九州市児童福祉施設等第三者評価委員会）

## 4 評価結果

### 総合評価

保育園は、門司区大里の廣濟寺に隣接する位置にあります。園庭には子ども達の育ちを見守っている大きな時計と、桜の木があります。仏教的保育を通して思いやりのある心温かい育ちを育てています。保育園専用の「ちびっこ農園」があり、1年を通して自然との触れ合いを取り入れています。散歩や遊びを通して、異年齢の子ども達との交流を深めています。

#### I 子どもの発達援助

保育課程は、基本方針に基づき作成されています。ケース会議は職員会議の中で検討し、話し合われた内容が指導計画に反映されています。子どもの健康管理については、園独自の「健康管理年間計画」が作成され、嘱託医と連携し、保護者に情報が提供されています。感染症に関するマニュアルも整備されています。給食のサンプルや食材が、出入り口近くの見やすい場所に展示され、給食試食会を年1回実施し、保護者へ食に関する啓発が行われています。除去食については、診断書に基づき、四者（保護者、主任保育士、担任、給食調理員）会議を行い、子どもの状況に応じて提供されています。給食の際、保育士はエプロンと三角巾を着用し、子どもは手作りのランチョンマットを敷くなど、場面的な切り替えが行われており、評価できます。

保育室に温湿度計、空気清浄器があり、換気にも配慮されています。トイレ・玩具の消毒は定期的に行われています。保育士は子どもに対して、声のトーンに注意し、おだやかな言葉づかいで接するなど、配慮して保育を行っています。公共交通機関を利用した園外保育で、社会体験が得られる機会を設けています。散歩や遊びを通じた異年齢交流も実施されています。乳児保育は、家庭と連携を取りながら保育されています。

園長や主任保育士が子どもや保護者に「思いやり」をテーマにした「お話」をすることで、人権を大切にしている取り組みが行われています。受け入れ簿や出席簿は、男女混合で作成されています。体操服やスモックは男女同色のものを着用するなど性差への固定観念を植え付けないようにしています。障害児保育については、職員が統合保育研修に参加し、研修内容は、会議で報告されています。障害児の特性に合わせた個別の指導計画が作成されています。

#### II 子育て支援

連絡帳や送迎時の会話を通して、保護者との相互理解に努め、クラス懇談や個別面談も行われています。虐待防止マニュアルがあり、日々、観察や情報収集に努めています。今後は、虐待に関して全職員が周知できるように職場内研修等の充実を図ることが望まれます。未入園児を対象としたフリースペース「ひろばめぐみ」を開き、チラシを作成しています。一時保育を利用する子どもや保護者にも、入所児及び保護者と同様に細やかに対応するよう努めています。登録児童の記録は、適切に作成・保管されています。

#### III 地域の住民や関係機関等との連携

市民センターなどの地域の関係機関と連携し、収集した情報は保護者の目に留まるようにしていますが、今後は、整理して分類することや掲示内容の整理をするなど、見やすく工夫することが望まれます。近隣の保育園との交流や保育参加等が実施されています。小学校の企画により小学校5年生と年長児との交流会に参加しています。近隣の住民に対し、園外保育時など、積極的に挨拶しています。実習等の受け入れについては、オリエンテーションや反省会が実施され、担当者である主任保育士は必要な研修に参加しています。今後は、園の方針や目的に応じたプログラムについて、実習生に文書等で提供し、全職員に周知することが望まれます。

#### IV 運営管理

管理者に意欲は感じられますが、今後は職員からの意見を聞くなどの機会を定期的に設けることや必要な職員の参加のもとに自己評価を行い改善策を立て、その結果を全職員に周知することが望まれます。職員に研修の機会を確保し、職場内研修も行われています。今後は、職員の研修希望を聞く機会を設け、一人一人の研修記録を作成するなど、研修の成果を反映した研修計画を立てることが望まれます。就業規則などで守秘義務遵守が定められています。事故・災害などに適切に対応できるマニュアルが作成され、安全管理のための防犯カメラを設置しています。今後は、消火器の転倒による事故を防ぐための工夫など、事故防止に向けた具体的な取り組みが望まれます。

# 評価対象ごとの評価（概要）

## I 子どもの発達援助

一人一人の子どもの状況に配慮した保育が展開されているか、保育にふさわしい環境が整っているかなどを評価したものです。

評価対象	評価結果
<b>発達援助の基本</b>	<p><b>計画・記録</b>            保育課程は、基本方針に基づき編成され、園独自の計画も盛り込まれています。アンケートによる保護者の意向や地域の実態も反映されています。各年齢のクラス担任が子どもの成長・発達に応じた指導計画を作成し、評価・見直しが行われています。帳票の記載は、午後の空いた時間を利用するなど保育に支障がないよう工夫されています。保育上、必要な情報は、職員会議で周知されています。</p> <p><b>会議</b>            ケース会議は職員会議の中で行い、話し合われた内容は記録されています。検討された内容は、指導計画に反映されています。必要に応じて保護者とも連携を図り、専門機関へ繋げています。</p>
<b>健康管理・食事</b>	<p><b>健康管理</b>            園独自の「健康管理年間計画」が作成されています。嘱託医と連携を図り、子どもの健康管理について保護者に情報を提供しています。健康診断や歯科検診の結果は、口頭や文書で保護者に知らせており、全職員にも周知されています。</p> <p><b>感染症</b>            感染症に関するマニュアルを作成し、流行期には保護者への情報提供も行われています。予防接種の勧奨は、園だよりやクラスだよりで保護者に働きかけがなされています。</p> <p><b>食事</b>            給食のサンプルや食材が、出入り口近くの見やすい場所に展示されています。年一回給食試食会を開催し、保護者へ食に関する啓発が行われています。除去食については、診断書に基づき、四者（保護者、主任保育士、担任、給食調理員）会議を行い、子どもの状況に応じて提供されています。給食の際、保育士はエプロンと三角巾を着用し、子どもは手作りのランチョンマットを敷くなど、場面的な切り替えを行う配慮がなされています。収穫した野菜を調理して食べるなど、食育にも取り組んでいます。</p>
<b>保育環境・保育内容</b>	<p><b>保育環境</b>            各保育室に温湿度計、空気清浄器があり、換気にも配慮されています。トイレ・玩具の消毒は定期的に行われています。</p> <p><b>保育内容</b>            保育士は子どもに対して、声のトーンに注意し、おだやかな言葉づかいで接するなど、配慮して保育を行っています。調査の際、一人一人の子どもの気持ちを受容しながら関わっている保育士の姿が見られました。基本的な生活習慣や生理現象については個々の子どもに合わせ、無理のないよう援助されています。保育室には、年齢に応じた玩具や遊具が用意され、選定にあたっては、職員会議で検討しています。小動物と触れ合う環境が用意されているほか、菜園活動も行われています。公共交通機関を利用した園外保育を行い、社会体験が得られる機会を設けています。3歳以上児が「北九州市まち美化事業」として、公園の清掃活動を行うなど、身近な環境に関心を持つ取り組みが行われています。異年齢交流「なかよしタイム」が指導計画に位置付けられ、散歩や遊びを通して実施されています。絵本の読み聞かせでは、集中して見たり聞いたりする子どもの姿から、日頃の取り組みが感じられました。乳児保育は、家庭と連携を取りながら一人一人の状態を把握し、保育する姿が見られました。安全管理や事故発生時の対応マニュアルが整備され、警察署と連携した交通安全教室が行われています。</p> <p><b>人権・性差</b>            月2回、「思いやり」をテーマに園長や主任保育士が「お話」を行い、人権を大切にすることを育てる取り組みが行われています。受け入れ簿や出席簿は、男女混合で作成されています。体操服やスモックは男女同色のものを着用するなど性差への固定観念を植え付けないようにしています。</p> <p><b>障害児保育</b>            現在、入所している障害児については、専門機関と連携が取られ、個別の配慮がなされています。職員は統合保育研修に参加し、研修内容は、会議で報告されています。障害児の特性に合わせた個別の指導計画が作成されています。</p>

## II 子育て支援

子育てに関する保育所と保護者との相互理解や、地域における子育て支援の取り組みなどを評価したものです。

評価対象	評価結果
者の育 入所児童の保護 支援	<p><b>保護者との関係・虐待</b></p> <p>連絡帳や送迎時の会話を通して、保護者との相互理解に努めています。また進級式時にクラス懇談を実施し、個別面談も行われています。虐待防止に関するマニュアルがあり、日々、観察や情報収集に努めており、研修にも参加しています。今後は、虐待に関して全職員が周知できるよう職場内研修等の充実を図ることが望まれます。</p>
地域の 子育て 支援	<p><b>地域支援・一時保育</b></p> <p>未入園児を対象としたフリースペース「ひろばめぐみ」を開き、チラシを作成しています。一時保育を利用する子どもや保護者にも、入所児及び保護者と同様に細やかに対応できるよう努めています。登録児童の記録は、適切に作成・保管されています。</p>

## III 地域住民や関係機関等との連携

地域の最も身近な児童福祉施設としての役割を果たしているか、関係機関等との連携を図っているかなどを評価したものです。

関・団 地域の住民や関係機 体との連携	<p><b>地域での役割・その他機関との連携</b></p> <p>市民センターなどの地域の関係機関と連携し、収集した情報は保護者の目に留まるようにしていますが、今後は、整理して分類することや掲示内容の整理をするなど、見やすく工夫することが望まれます。子ども総合センターなどの専門機関や自治会と連携した取り組みが行われています。近隣の西光保育園との交流や保育参加等も実施されています。小学校の企画により小学校5年生と年長児との交流会に参加しています。近隣の住民に対し、園外保育時など、積極的に挨拶しています。市主催の「市民いっせいまち美化の日」にも参加しています。</p>
実 習 等 の 受 入 ポ ラ	<p><b>実習等の受入</b></p> <p>受け入れについては、オリエンテーションや反省会が実施され、担当者である主任保育士は必要な研修に参加しています。実習生等の受け入れに関しての文書は確認できますが、今後は、園の方針や目的に応じたプログラムについて、文書等で実習生に提供し、全職員に周知することが望まれます。</p>

## IV 運営管理

保育に関する基本方針等が策定されているか、職員研修などの取り組みがなされているかなど、組織としての運営管理を評価したものです。

組 織 運 営 基 本 方 針	<p><b>理念・方針</b></p> <p>リーフレットに保育理念・保育方針が明文化され、今年度、中・長期計画も作成されています。</p> <p><b>保育の質の向上・研修</b></p> <p>管理者に意欲は感じられますが、今後は「職員からの意見を聞く場」などを定期的に設けることや必要な職員の参加のもとに自己評価を行い改善策を立て、その結果を全職員に周知することが望まれます。北九州市における研修体系などを利用して研修の機会を確保し、職場内研修も行われています。今後は、職員の研修希望を聞く機会を設け、一人一人の研修記録を作成するなど、研修の成果を反映した研修計画を立てることが望まれます。</p>
安 全 ・ 衛 生 管 理 守 秘 義 務 の 遵 守 情 報 提 供	<p><b>守秘義務・情報・安全</b></p> <p>就業規則などで守秘義務遵守が定められ、マニュアル整備や職場内研修も実施されています。情報提供については、入所時にはリーフレットで、入所後には園だよりやクラスだよりを活用し、分かりやすく伝えられています。事故・災害などに適切に対応できるマニュアルが作成されています。寺院と併設する保育園のため、安全管理のための防犯カメラを設置しています。今後は、消火器の転倒による事故を防ぐための工夫など、事故防止に向けた具体的な取り組みが望まれます。</p>